

## 2015年9月～10月のJ-stage アクセスランキング

(対象論文：44巻1号～50巻3号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料の計216編)

### 上位20位の論文情報

順位	DL	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	34	原著	大気エアロゾル中のイオン成分および無機元素成分の粒径別高時間分解能測定	辻 昭博	48	82
2	29	総説	地域スケールの化学輸送モデリング	森野 悠	50	131
3	27	速報	2013年1月に中国北京市で採取した高濃度PM2.5,PM1の特徴	米持真一	48	140
4	26	総説	大気汚染の健康影響に関する疫学研究-自動車排出ガスと微小粒子状物質	島 正之	50	67
5	24	原著	誘導体化-加熱脱着GC/MS法によるPM2.5中の極性及び非極性有機成分の	上野広行	47	241
6	21	総説	PM2.5の実態解明に向けて-最近の研究と今後の課題-	伏見暁洋	46	84
6	21	技術調査報告	2013年11月4日に東日本として初めて注意喚起が実施された千葉県のPM2.5	市川有二郎	50	152
8	19	速報	ハイボリューム・エアサンプラー用PM2.5インパクター(HVI2.5)の開発	兼保直樹	45	171
8	19	技術調査報告	2011年度の連続測定結果に基づく全国的なPM2.5汚染の状況解析	板野泰之	48	154
8	19	原著	Fresh sootと、aged sootは、どちらが気道に沈着しやすいか	梶野瑞王	49	101
11	18	原著	関東地方における夏季地表オゾン濃度のNOx、VOC排出量に対する感度の地	井上和也	45	183
11	18	論壇	木炭・竹炭を用いた土壌中からの放射性セシウムの除去の可能性	小林 真	46	217
11	18	原著	エアロゾル質量分析計により沖縄県辺戸岬において観測されたエアロゾル化	三好猛雄	48	1
11	18	原著	関東地域における揮発性有機化合物(VOC)排出量の変化と光化学オキシタ	星 純也	48	215
15	17	原著	我が国の光化学オゾン汚染の8時間平均値による評価	大泉 毅	48	181
15	17	技術調査報告	2011年2月上旬に観測された広域的なPM2.5高濃度エピソードの要因推定	山神真紀子	48	196
17	16	原著	東アジアから輸送される汚染大気中の炭素質エアロゾルの変動と発生源推定	島田幸治郎	46	1
17	16	原著	日本における自動車由来大気汚染物質排出の30年史	神成陽容	48	20
19	15	原著	九州北部の離島および大都市部におけるPM2.5濃度の通年での挙動	兼保直樹	46	111
19	15	資料	米国がPM2.5の年の一次基準値を12.0 µg/m3に低下させた経緯	香川 順	48	206
19	15	技術調査報告	PM2.5質量濃度測定データを用いた自動測定機による時間値の測定精度評価	板野泰之	50	123
19	15	原著	トレーサー法を用いたわが国の硫酸塩濃度に対する国内外の発生源寄与評価	板橋秀一	50	138
19	15	原著	首都圏における夏季高濃度オゾン出現に関わる前駆物質(NMHCとNOx)の挙	吉門 洋	50	44

同一IPアドレスからの複数アクセスは1回とカウントしています。